

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部事務局広報室
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.
 jp

「定時評議員会」「理事会」 「評議員選考委員会」同日開催

社会福祉法人の経営組織は業務執行の決定機関である理事会、法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会、理事の職務執行の監査を行う監事等によって構成されている。そして任期も決まっております。理事・監事は2年、評議員は4年となっております。また、評議員選考委員は4年、苦情解決第三者委員は2年となっております。そのため、4年ごとに、大幅な役員等の改選がある。今年度がその年であるため、6月16日にまちなか宝生園こころホールにて、3つの重要な会議が行われた。

社会福祉法改正による4年に一度の役員等総改選



第5回定時評議員会

本会に先立ち、加藤理事長より「昨年はコロナ禍のなか書面決議にて開催したが、今年度は4年に一度の役員改選があるので、対面での会議とさせていただきます。決算報告、役員改選等数多くの議案はあるが、慎重審議をお願いしたい。今年度は20年勤続の職員が2名、10年勤続が19名いる。本来ならば、総会での授与となるがコロナ禍のため今年も中止としているので、個別に対応する」と挨拶があった。その後、伊藤達也評議員が議長で選出され、議案審議となった。審議された議案は「令和2年度事業報告」「令和2年度決算報告」「役員改選」であった。事業報告では、面会でできないご家族へ、どのようにしてご利用の様子等伝えられるかなど職員同士で知恵を出し合った結果、ご家族に喜ばれ、さらに職員同士の結束が強くなったなど、コロナ禍での対応に奮起したことが中心に報告された。決算報告では加藤理事長より「コロナ禍の中、高い稼働率を維持してきた職員の

努力に、敬意を表し、また感染防止に対し職員には苦勞をかけた運営であった」と補足説明があった。役員改選では、理事会で推薦のあった役員全員が承認された。その後、報告事項にうつり、苦情解決第三者委員小宮様より「この状況のなかクラスターを発生させずに令和2年度を乗り切った施設、職員を誇りに思う」とねぎらいの言葉があった。その後評議員より「コロナ対策で特別なことは行ったのか」という質問があった。それに対し加藤理事長より「普段から感染症対策は行っているが、今回は面会謝絶等人流を押さえた」と報告が終了した。

第19回理事会

評議員会終了後、第19回理事会が開催された。初めに、評議員会で選任された役員に委嘱状が手渡された。その後、議案審議となった。理事長選任では、加藤理事長が引き続き選任され「引き続き多宝会のために尽力をつくす」との挨拶があった。



た。その後、業務執行理事の選任、評議員選考委員の選任等と、慎重審議が行われ、全ての議案が終了。最後に監事より「新たに役員

になられた方、事務局も含め、新たな社会福祉法人多宝会を盛り上げていただきたい」と講評があり、理事会の一切が終了した。

第5回評議員選考委員会

評議員会、理事会終了後「第5回評議員選考委員会」が開催された。理事会で選任された監事2名、外部委員3名、事務局2名で構成される評議員選考委員に委嘱状が手渡され、理事長退席後、議案がすすめられた。理事会で推薦のあった評議員7名を慎重審議の結果、選任することとなり、評議員選考委員会の一切が終了した。

社会福祉法人多宝会「新たな船出」

理事会では、評議員の推薦、理事・監事の推薦が行われるが、その推薦により選任を行うのは評議員会、評議員を選任するのは評議員選考委員会、評議員選考委員会の一切が終了した。

評議員 小宮敬子様
 伊藤達也様
 阿部国敏様
 佐藤千秋様
 渡邊あゆ美様
 伊藤英昭様
 大竹真人様

役員
 理事長 加藤貴之様
 専務理事 (業務執行理事) 阿久津政広様
 理事 安西直美様
 理事 齋藤圭太様
 理事 内山加奈子様
 理事 渡邊啓道様
 監事 佐藤昌彦様
 監事 菱沼謙一郎様

苦情解決第三者委員
 小宮敬子様
 阿部国敏様
 佐藤千秋様
 渡邊あゆ美様
 評議員選考委員
 佐々木政治様
 母袋笙子様
 千葉美智子様
 佐藤昌彦様
 菱沼謙一郎様
 熱海みどり様
 山本龍也様



委員は理事会で選任される。このように、理事、評議員がお互いを牽制することにより、社会福祉法人の経営組織のガバナンスの強化や財務規律の強化などが求められる。

いち早い新型コロナウイルス対策

令和2年11月より設置 AI体温検知カメラ

現在、各施設では職員はもちろん、外部から来館のかたにも体温測定をお願いしている。現在、いろいろな場所で見かける測定器だが、顔をかざすだけで即座に体温測定、一定体温以上だと警笛が鳴る。また、マスク不着用の方にも警笛が鳴る。非接触での体温測定は、人間が放射する赤外線を感じ、その赤外線の強さを「AIアルゴリズム」によって計算され、体温を測定している。

入予防接種が始まった。重症化のリスク等を踏まえ、特例であるが、市町村と高齢者施設の双方の体制が整うこと、ワクチン流通量の単位、施設入所者と一緒に受けることが効率的であることなど、一定の要件を満たした場合には入所者と同時に施設従事者が接種できるとされ、福島市はその特例を採用した。厚労省からも報告されているように、ワクチン接種を行ったから、100%発症予防効果がある。



予防接種開始

施設でのご利用者、職員を対象に新型コロナウイルス

地域の給水訓練に参加

去る6月29日福島市水道局給水課による応急給水訓練が平和通りで実施された。平和通りの地下には、平成13年に埋設された「飲料水兼用耐震貯水槽」と呼ばれる長さ180mの水道管があり、平常時は配水管として使用しているが、有事の際には緊急遮断弁が作動し貯水槽としての役割を果たす。この貯水槽には約20万Lの飲料水を蓄えられるが、人間が1日に必要な水が3Lなので、約6万7千人分の蓄えがある。当日は、大雨の中、まちなか宝生園職員、町内会の方、周辺企業の方々



施設の話題をいち早くお届けする



多宝会 HOTLINE



ケアハウス花見ドライブ

松川町の右輪台の枝垂れ桜と二本松市の山の入ダムの桜を見に行きました。松川町では桜並木を散歩し、ダムでは桜のピンクと青い湖面、残雪を冠した安達太良山の藍色が織りなす自然の絵画の中にあるような感覚でした。昼食は釜飯が売りのお店で舌鼓を打ちました。



ある日のデイサービスの昼食

エームサービスの職員のかたが、目の前で寿司を握ってくださいました。まぐろ、サーモン、エビ、玉子、軍艦の本格的な握り寿司の他に、茶碗蒸などもありました。当日の朝皆さんにお知らせしたので、朝からソワソワして待ちきれない様子でした。普段、食の細い方も、おかわりをし、沢山召し上がりました。



デイサービスバラ園見学

あづま運動公園のバラ園にでかけました。晴れた日は近くでバラを見たり、匂いを嗅いだりして、満喫している様子でした。おやつには、コロッケを美味しく召し上がっていました。次回はどこに行くのかと、今から楽しみにしている様子でした。



ケアハウス温泉街散策

土湯温泉街の新しくできた観光名所を巡りました。「おららのこみせ」でエビ釣り体験をしたり、川のせせらぎを聞きながら足湯につかったり、新緑を眺めながら昼食に舌鼓を打ちました。その後湯楽座で買い物をして帰路につきました。「ゆっくり見れて良い思い出になった」等の声が聞こえました。



まちなか宝生園

デイサービスのクラブ活動

ご利用者と一緒に「起き上がりこぼし」を作成しました。紙粘土をまるめ紙を貼り、中にビー玉を入れ、乾燥させて完成。「私たちがダルマみたいにちゃんと起き上がらないとね!」と笑顔がたくさん見られました。



デザート作り

いちごパバロアとバナナマフィンを、ご利用者と一緒に作りました。パバロアにいちごソースをかけた時は、いちごのフルーティーな香りがユニット内に広がりました。出来立てのデザートは、あっという間にご利用者の胃の中におさまりました。



紫陽花のしおり作り

クッキングシートに紙を貼り付けて並べ、紫陽花の形にしてしおりを作りました。光にかざすと、紫陽花の花びらから光が漏れ、スタンドグラスのように綺麗な仕上がります。早速、デイサービスの連絡帳に使用しています。



この時期になりました

今年も、かき氷で食べるように梅シロップを作りました。毎年楽しみにしている恒例の行事です。手間はかかりますが、梅を見て触るだけで、話題がどんどん出てきて話も盛り上がりました。今年の「夏祭り」で提供予定です。毎日出来具合を確かめ、今から楽しみにしています。



アリヴァーレのお茶会

職員の市川佐知子さんが抹茶をたてお茶会を行いました。こころホールやユニットには花を飾って、花の形のねりきりのおやつを食べながら「おやつもお花も綺麗だね」「すごく美味しいお茶だね」と、とても楽しそうにひと時を過ごしていました。



手作りおやつ

今回のおやつはフレンチトースト。フルーツやチョコソースでトッピングしました。コース料理でいただくようなお洒落なフレンチトーストでした。ホールの甘い香りに包まれながらおいしくいただきました。



ほのぼの宝生園で花見

あづま運動公園に花見に行きました。満開には早かったのですが、笑顔で「こんないい場所あったんだね」と散歩されたり、小春日よりのなかうたを寝たりして楽しみました。施設に戻ってから、花見団子をいただきましたが、やはり今年も花より団子でした!



父の日行事

父の日行事で四季の里へ。園内を散歩し、バラ園では、休憩しながら談笑を楽しみました。その後、近くのアイス屋で、それぞれにアイスを楽しみました。快晴のなかで食べるアイスは格別のように、利用者同士の話はずみ、満足した行事でした。



西部地域包括支援センター

去る5月20日令和3年度第一回福島市介護予防ケアマネジメント相談会(自立支援型地域ケア会議)にて、保健師の半澤さんが事例発表を行いました。内容は、高齢者のQOLの向上を目指し、自立支援に向けたケース検討です。結果として、多職種(薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、栄養士)からの専門的な助言を幅広く受け、効果的なケアマネジメントおよびケース支援の質の向上につながりました。



お茶会

コロナ禍でみんなのできる事が制限されるなか、少人数でお茶会を行いました。近くのお店から購入したくるみ饅頭や抹茶饅頭などのお菓子を用意して、美味しいお茶を飲みながら楽しみました。室内に桜は咲いていませんでしたが、皆さんの笑顔は満開でした。



備えあれば

本来ならばご利用者も参加の防災訓練ですが、コロナ感染防止のため、職員のみで訓練を行いました。実践にちかい形で行いますが、何度訓練をしても毎回緊張します。いざという時のために、日々訓練です。



調理レク

美味しく楽しめる調理レクを開催しました。今回は、クレープやフルーツポンチを作りました。フルーツポンチは炭酸飲料水を使い「噴水フルーツポンチ」を作り、ホテルのパーティーのような演出を施しました。甘い香りが広がり、視覚、嗅覚、味覚をくすぐるレクでした。



丹後の節句

ちまき作りをおこないました。「どうするか忘れたよ」と言いながらも、丁寧に作って下さいました。職員も毎年作っていますが、やはり経験を長く積んできたご利用者にはかないません。水に十分に漬けて翌日のおやつに美味しくいただきました。



トピックス

ホームページをリニューアルしました。前回より、施設紹介がブラッシュアップされ、各施設の取組みや、現場のスタッフの声が掲載されました。また、各事業所の地域の風景などが加わりました。また、ホームページの強化もされ、ホームページも新たな多宝会に生まれ変わりました。ぜひ、ご覧になってみてください。

ホームページをリニューアルしました。

各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのぼの宝生園	024-594-0063	湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	法人本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL	https://www.tahokai.jp